

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします

## 現状における生育状況(4月1日現在)

- 今冬の気温は**平年並み～やや暖かい**傾向でした。
- その後、3月に入ると甲府における日平均気温の平均値は**11.9℃**(平年値**8.6℃**)と高く、著しく気温が上昇しました(図)。
- 甲府のサクラ開花始めは**3月17日**(前年比**4日早い**、平年比**8日早い**)でした。
- 峡東地区の平坦地での**モモ開花始めは25日頃**で、現在は満開を過ぎたところです。
- 当組合の現地モデル調査結果によると、スモモ、モモ等立木類の生育は**昨年に比べて7～8日早く**、平年に比べて**9～10日早い**傾向です。春季は気象変動が大きいため霜害等の可能性があるので天気予報に留意しながら適期管理に努めましょう。

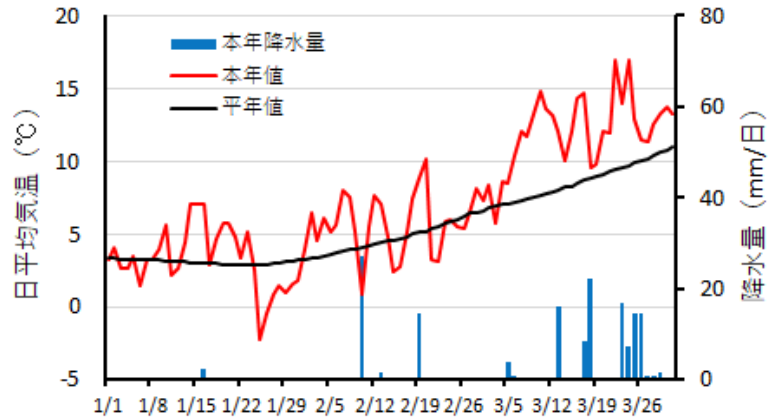


図. 本年1～3月の日平均気温 (甲府気象台)

## 農薬散布後は機具を3回洗いましょう

- 開花とともに新梢が伸長し、農薬散布による定期防除を行う時期となりました。
- 使用した**農薬**が機具に残り、次の散布液に混ざると、**農薬残留**や**防除効果低下**の原因となります。
- **適切な洗浄回数**を知るために3種類の農薬成分を含む薬液を散布後、ホースに6回水を通し、各洗浄液中の成分濃度を測定しました。
- その結果、**3回洗浄**すると薬液中の農薬成分濃度は十分に低下し、残っていた成分の**99%以上が除去**されました(図)。使用した散布機具は十分に洗浄する必要があります。

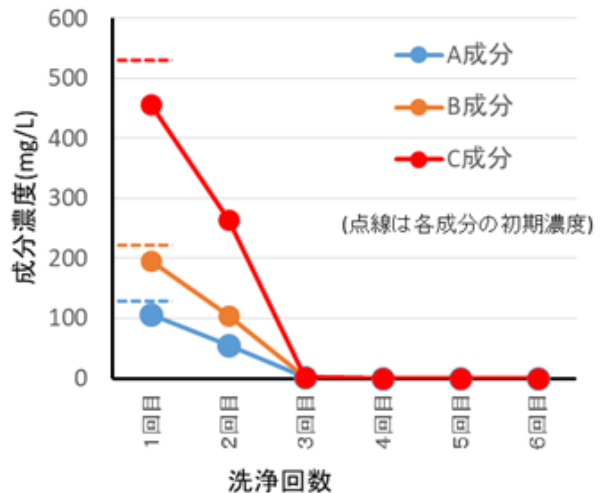


図. 農薬散布機具の複数回洗浄による成分除去効果 (天野他(2021)より作成)